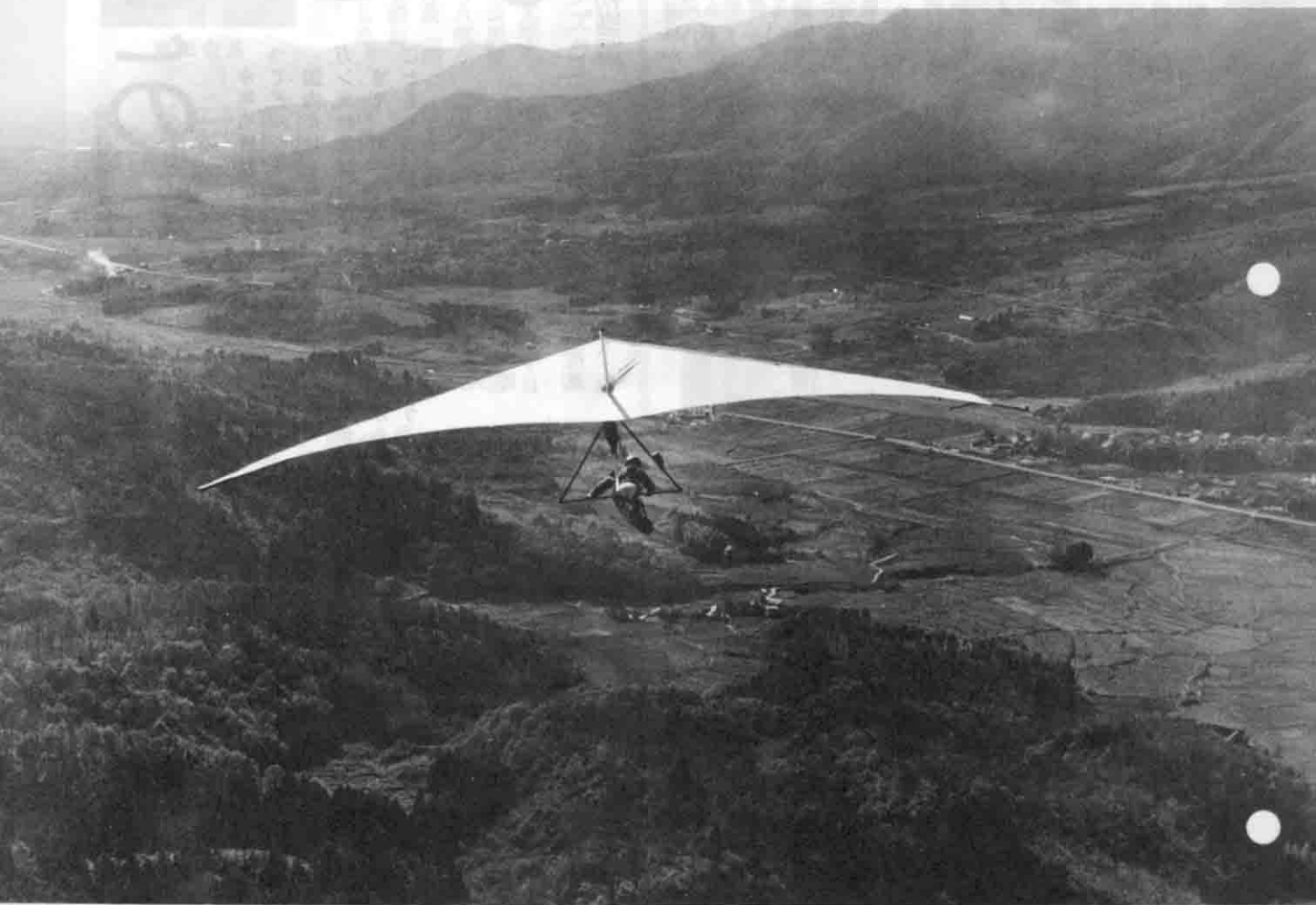


	12月1日現在	前月比
男	14,489	+15
女	14,524	-14
計	29,013	+1
世帯数	6,537	+12

№.342 昭和58年12月15日発行 茨城県八郷町役場 (電話 02994 (3) 1111代) 中村謙一 印刷 やさと印刷所



鳥のように大空へ

鳥のように自由に大空を飛び回るのは、人間の夢。この夢に、比較的簡単に近づくことができるのがハンググライダーです。

大增の板敷地内には、そのハンググライダーの基地があり、日曜日ともなると、広く県外からも愛好者が訪れ、空の散歩を楽しんでいます。

また、11月18日～20日にかけて、関東近県の愛好者を集め、この基地から筑波山頂折り返しの「飛行大会」も開かれています。



主な内容

- ズームアップ この一年を振り返る 2～5P
- 八郷町財政事情報告 6～9P
- みんなの公民館 10P
- 産業文化祭 青年のつどい 11P



この一年を振り返る

今年も残り少なくなりました。昭和五十八年は、皆さんにと
ってどんな年だったでしょうか。

国内だけを見ても、日本海中部地震、ロッキード判決、レー
ガン大統領訪日など、いろいろなことがありました。

さて、町内では……。今年も一月から十一月までの町のでき
ごとをもう一度振り返ってみましょう。

一月

町長に中村氏が初当選

任期満了に伴う町長選挙が
行われ、新人の中村謙一氏が
初当選しました。

当日は、朝から雨という悪
天候にもかかわらず、前回は
五・一％上回る八八・八％と
いう高い投票率となりました。

一方、二名欠員のため同時
選挙となった町議会議員補欠
選挙は、島田重郎氏と永井孝
夫氏が無投票当選しました。

農業後継者八名を表彰

農業経営に従事する後継者
を育成するため、他の模範と
なる優秀な後継者を表彰する

二月

三笠優子シヨールを開催

中央公民館の完成を記念し
て、三笠優子チャリティシ
ヨールが開催されました。

昼、夜の部の二回に分け、
昼は身体障害者の方とお年寄
りを優先し、夜は一般の方を
対象に行われ、どちらもほぼ
満席となる盛況ぶりでした。

瓦会・小幡地区簡水が完成

農業後継者表彰式で、大
字柿岡の大枝正男さんら八名
が表彰を受けました。

この表彰は、農政活動推進
本部が行っているもので、今
年で四回目を迎えました。

瓦会地区簡易水道の新設と
小幡地区簡易水道の増設工事
が完成しました。

瓦会地区簡水は五十五年七
月から、小幡地区簡水は五十
六年七月から、それぞれ工事
が進められていたもので、両
簡水が完成したことによって、
町の簡水普及率は六二％とな
りました。

町消防団が「特別表 彰まとい」を受賞

日本消防協会定例表彰団体
の部で、町消防団が「特別表
彰まとい」を受賞しました。

この賞は、同表彰の中でも
最高の荣誉ある賞で、県下で
は初めての受賞です。

三月



職員に迎えられ初登庁する中村新町長。



日本消防協会から町消防団に贈られた「金のまとい」、現在中央公民館に保管されています。

特別職人事決まる

空席となっていた収入役と五名の教育委員が、町議会臨時会で同意を得て選任されました。収入役には関野和夫氏が、教育長には小河原四郎氏がそれぞれ就任しました。

上曾・上山集落に集会施設が完成

芦穂地区の上曾集落と上山集落に、それぞれ立派な集会施設が完成しました。

いずれも、町から五百万円のコミュニティセンター建設費補助金を受けて整備されたものです。

この補助金は、地域の連帯感を深めて明るい地域づくりを進めようと、集落で設置する集会施設に対して交付しているもので、両集落が初めての対象地域です。

四月

町当初予算の総額は七十五億二千八百万円

一般会計五十二億九千二百

万円をはじめ、四つの特別会計を合わせると七十五億二千八百四十二万三千円の予算で昭和五十八年度がスタートしました。

一般会計は、昨年度の当初予算に比べ四億五千万円、七・九%の減額という厳しい状況となりました。これは、国をはじめとする厳しい財政事情により、頼みとする地方交付税が減額されたほか、国・県支出金なども減少したことによるものです。

谷萩さん自転車で成田山へ

大字鯨岡の谷萩貞次さんは、満七十九歳の誕生日を迎える記念にと、元気に自転車で成田山新勝寺に参拝しました。谷萩さんは、これまでも自転車で房総半島一周や日光東照宮、松島の瑞巖寺参りなど行っています。

五月

国際色豊かな田植え

国際親善センターの皆さんが、ことしも板敷山大覚寺を訪れ、カスリの着物にモンペ、

モモヒキ姿で、手植えの田植えを体験しました。

これは、駐日大使館員とその家族の皆さんに、日本の昔ながらの姿を知ってもらおうと、秋の稲刈りとともに毎年行われているものです。

六月

新たに開発課を設置

町の行政機構の一部が変わり、これまでの「企画調整課」が、企画部門担当の「企画調整課」と開発部門担当の「開発課」の二つの課に分かれました。

七月

新治郡体育大会、柔道で五年連続総合優勝を飾る

第三十七回新治郡体育大会が郡内の各会場で行われました。

町からは、青年・一般合わせて約百八十名が参加し、中でも柔道は、今年も安定した強さを発揮し、五年連続総合優勝を果たしました。

大字鯨岡の谷萩貞次さんは、自転車で成田山新勝寺に参拝しました。



町のコミュニケーションセンター建設費補助金を受けて整備された上曾公民館



カスリの着物にモンペ姿で田植えをする外人さん。最近では地元でさえなかなか見ることのできない光景です。

手数料の一部を改正

八郷町手数料徴収条例の一部が改正され、印鑑証明、住民票謄(抄)本など、これまでに一件につき百円の手数料だったものが、七月から二百円となりました。

また、戸籍謄(抄)本などの手数料は、国の戸籍手数料令の改正により、すでに四月に引き上げられました。

八月

フィリッピン青年八名が来町、一般家庭に分宿

外国の青年を招き、相互理解と友好親善を深めようと、県が招待した十五名のフィリッピン青年の内八名が町を訪れ、町青年四名の家庭に分宿しました。

町内に二泊した一行は、筑波山や板敷山大覚寺、中央公民館の着付講座、小幡梨選果場などを見学したり、シヨッビングを楽しみました。

町健康問題研究会が発足

日本医科大学の協力を得て、「八郷町健康問題研究会」が発足しました。

健康について、身体面ばかりでなく心まで含めた広い意味でとらえ、町における環境と健康のかかわりあいを基本として、「環境と健康」「健康と心」などを、今後二年間にわたって調査研究していくというものです。

小幡小新校舎・小桜小屋内運動場建設に着手

小幡小学校新校舎の建設工事が、来年七月の完成を目指して始まりました。新校舎は、鉄筋コンクリート造り三階建ての施設で、延床面積二、五七八㎡となります。

また、今年度内の完成を目指し、小桜小学校屋内運動場の建設工事も着手されました。鉄骨造り一部二階建て延床面積七〇五㎡の施設となります。

九月

「みんなの声を聞く日」を設ける

町では、町民の皆さんと町

長との対話の場として、「みんなの声を聞く日」を設けました。

一人でも多くの皆さんと話し合い、美しい豊かな町づくりに反映させたいと、毎月一日と十五日の午前九時～正午まで町長室で行っています。

一本の茎から約百三十個の花をつけた山ゆり

太田の久保田耕作さん宅の山ゆりが、約二・一mと巨大に育ち、一本の茎から約百三十個もの花をつけ、家人や近所の人たちをびびくりさせました。

十月

「町の将来」についてのアンケート調査まとまる

町民各層の考え方を知るため、約二千名を対象に七月中旬～八月上旬に実施した「八郷町の将来」についてのアンケート調査がまとめられました。

この調査は、活気ある豊かな町づくりを目指して進めている。第三次八郷町総合計画



友好親善と相互理解のためフィリッピンから県が十五名の青年を招きました。その内八名が町を訪れました。

大字太田の久保田耕作さん宅に咲いた山ゆりは、1本の茎から約130個もの花をつけました。



来年三月の完成を目指し工事が進められている小幡小学校屋内運動場。



の策定資料とするものです。

十一月

林野火災を想定して 茨城県総合防災訓練

町総合運動公園とその周辺で、大規模な茨城県総合防災訓練が、直接間接合わせ約五千名が参加して行われました。林野火災を想定して行われたこの訓練には、町消防団や新治地方広域事務組合、自衛隊、県警察本部、隣接消防署(団)をはじめ、東京電力、電々公社など八十二機関が協

力し、注水、避難誘導、負傷者の救出救護、空中消火など、本番さながらの訓練が展開されました。

農業者トレーニング センター建設に着工

鉄筋コンクリート二階建て、延床面積二、二二三㎡の施設で、体育室、トレーニング室、ステージ兼卓球室のほか、会議室や談話室を備えた農業者トレーニングセンターの建設工事が始まりました。二カ年継続事業で進められ、来年八月の完成が予定されています。

恋瀬地区公民館改築 工事始まる

恋瀬地区公民館改築工事請負契約が、町議会臨時会の承認を得、来年三月の完成を目指し工事が始められました。会議室、和室、調理室、事務室などを備え、鉄骨平屋建て、延床面積四八二、七三㎡の施設となります。なお、工事は、本体工事が石岡市の株式会社松永工務店が五千四百五十万円で、電気設備工事が牛久町の飯島電気工事株式会社が七百五十万円で落札、施工しています。

講演会開催「老化とその予防」

日本医科大学教授金子仁先生を迎えて

十一月七日、町健康問題研究会主催による「老化とその予防」の講演会が、中央公民館で開かれました。

講師に日本医科大学教授金子仁先生を迎え、ユーモアを交えた具体的な講演に、集まった約二百名の皆さんは、熱心に耳を傾けていました。講演の内容をご紹介しますので、参考にしてください。

を止めることはできないが、進行を緩めることはできるということ。では、どのようにすれば老化を予防できるでしょうか。

老化を防ぐ秘けつ

老化とともに起る病気には、がんや高血圧症があります。

東北地方に高血圧症が多いのは、塩分のとり過ぎによるもので、塩分の過多は血圧を高くして血管を弱くしてしまいますので注意してください。また、日常生活では、次のようなことに注意しましょう。

- 一、頭を使いイライラしないこと。
 - 二、足を使って体を丈夫に保つこと。
 - 三、食べ物をよくかんで消化をよくすること。
 - 四、老化を予防するビタミンE(納豆、豆腐、サツマイモ)を含んだ食べ物をとること。
 - 五、精神面で生きがいを持ち、気迫を持って生活すること。
- 以上が老化を防ぎ長生きする秘けつです。皆さんも日常生活に注意して長生きしてください。



町総合運動公園とその周辺で実施された茨城県総合防災訓練は、約5000人の人員を動員して本番さながらの大規模な訓練となりました。

昭和57年度決算

億4千万円

昭和五十七年度の町各会計決算を、条例に基づいてお知らせします。

決算は、一年間というコースを歩んできた町づくりの記録です。ここでは、一般会計を中心に、皆さんの納める税金や、国からの地方交付税がどのくらい入り、それがどのように使われたかというあらましを説明します。

なお、この決算は、十二月の町議会定例会に提出され、承認を受けることになっていきます。

一般会計

一般会計の歳入総額は六五億三六一八万五千円、歳出総額は五八億三九〇一万九千円で、差し引き六億九七七一六万六千円（使い道を指定した繰越金一億三九一八万三千円を含む）が、昭和五十八年度へ繰り越されています。前年度に比べると、歳入が一〇・九%、歳出が七・八%の増加となりました。

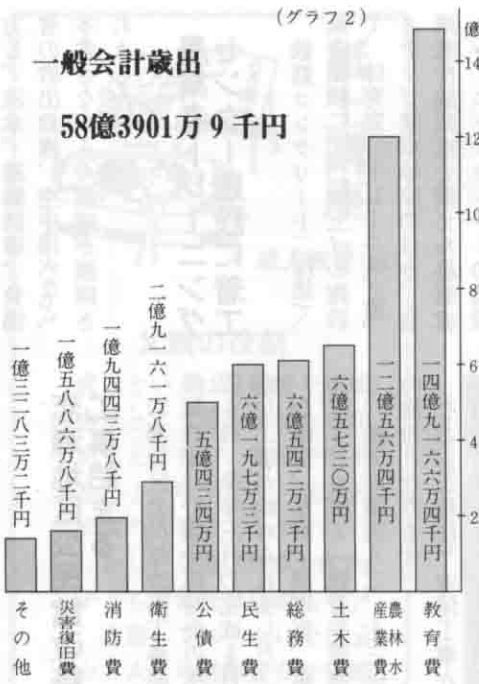
三割弱が地方交付税

歳入の主な内容（グラフ二）をみると、町の財政事情に応じて国から交付される地方交

付税が最も多く、全体の三二・七%を占めています。

次いで一五・九%を占める町税です。前年度に比べ約二億円、二三・五%増えました。これは主に特別土地保有税（町内に1ha以上の土地を取得したときなどにかかる税金）の増収によるものです。なお、町税には、皆さんが直接納める町民税や固定資産税などのほか、間接的に納めるたばこ消費税、電気税が含まれています。Ⅱグラフ三参照Ⅱ

次に多いのが一三・四%を占める町債です。町債は、町がいろいろな事業を行うときに借り入れたお金です。昭和五十七年度末で、五三億二三



一三万一千円（特別会計を含む）の未償還元金があります。Ⅱ表一参照Ⅱ

続いて県支出金、国庫支出金、繰越金：。となつていきます。

普通建設事業費が三八・五%

歳入の主な内容（グラフ二）をみてみましょう。

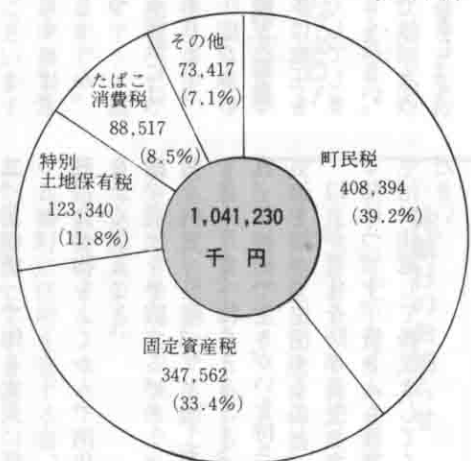
最も多いのが、全体の二五・五%を占める教育費です。主なものは、柿岡、小幡両小学校の屋内運動場建設、東成井小学校増築工事代等二億五二二三万円、中央公民館建設費六億四九五七万円です。

農林水産業費は、農道舗装、路盤工事などの農地費四億三五七五万円、農業構造改善事業費二億一五〇八万円、林道開設費一億二五四八万円などが主なもので、二〇・六%を占めています。

土木費は一一・三%を占め、町道の改良、舗装、排水工事などの道路新設改良費四億五

町税の内訳

(グラフ3)



八九九万円が主なものです。総務費は、特別職や一般職員の給与、区長報酬、コミュニケーション対策費、交通安全対策費などが主なもので、一〇・四%を占めています。

民生費は、老人医療費一億九三五万円、医療福祉費三七三三万円、児童手当五一三七万円などが主なもので、一〇・三%を占めています。

そのほか公債費、衛生費、消防費などがありますが、これらの歳出を性質別にみると、普通建設事業費が二億四六六二万円、三・五%、人件費が一億三億五八二万円、二・三%、補助費等が六億七六六万円、一〇・三%の順となっています。



△ 昭和57年11月に完成した中央公民館

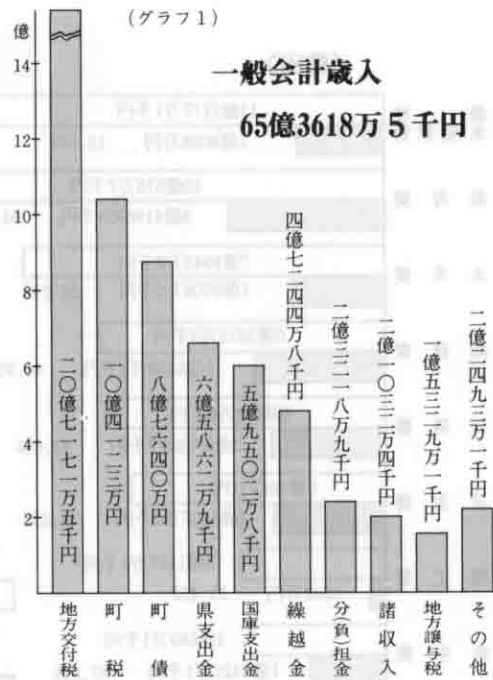
目的別町債 (57年度末現在)

(表1)

単位：千円

	当入	初元借金	未償還元金	未償還元額	償還元額
総務債	5,000		1,096		1,220
民生債	78,100		67,302		100,705
農林水産業債	463,300		394,633		534,073
商工債	320,300		214,089		293,302
土木債	2,267,500		1,959,050		3,083,768
消防債	91,500		69,848		84,527
教育債	1,926,900		1,739,319		2,796,229
災害復旧債	78,700		70,398		98,778
地方税減取補てん債	54,000		24,043		27,295
財政対策債	50,600		27,600		35,449
簡易水道事業債	782,800		755,753		1,693,501
計	6,118,700		5,323,131		8,748,847

こう使われた 一般会計 58



特別会計

特別会計(グラフ4)は、昭和五十七年度から新たに老人保健が設けられ、国民健康保険、簡易水道、菊地四郎顕彰社会福祉基金と合わせて四会計となりました。

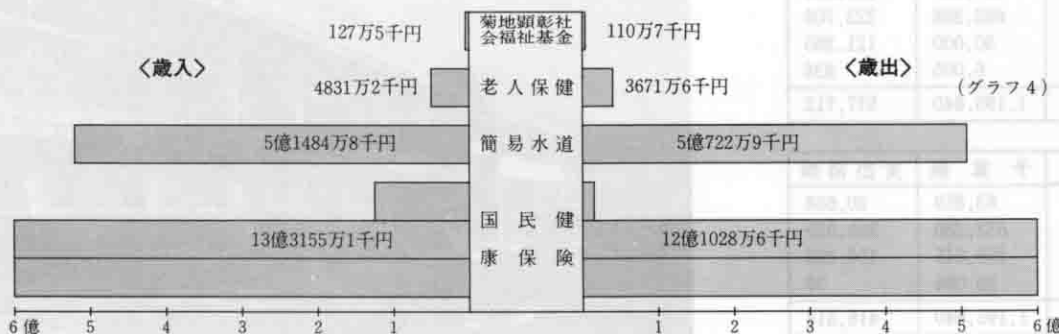
▼国民健康保険
歳入の主なものは、全体の五五・四%を占める国庫支出金七億三八三万円と二四・一%を占める国民健康保険税四億五五二万円です。

歳入の主なものは、皆さんが医者にかかったときに支給する保険給付費で、一一億一七一万円、九一%を占めています。

▼簡易水道
歳入の主なものは、町債二億一五四万円、四一・九%と国庫支出金一億二一六八万円、二三・六%で、歳出の七八・九%が簡易水道事業費に充てられています。

▼老人保健
歳入の主なものは、支払基金交付金三三七九万円、六九・九%で、歳出はすべて医療給付に充てられています。

▼菊地四郎顕彰社会福祉基金
一二〇〇万円の基金の利子



で運営され、よい子やよい母などの顕彰、寝たきり者・重度心身障害児に対する見舞品などの贈呈が行われています。

昭和58年度予算の概況

一般会計上半期(4~9月)

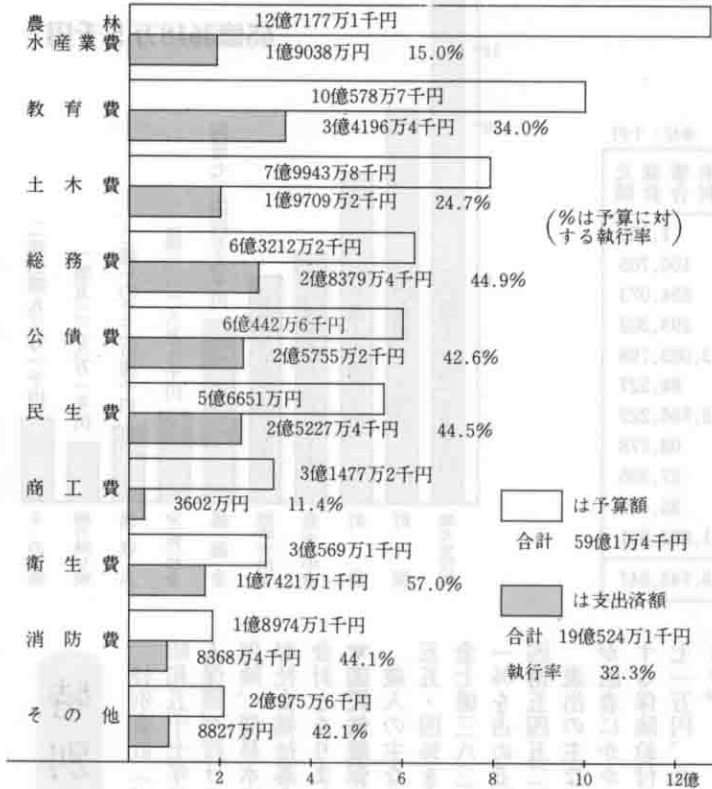
執行率は32.3%

昭和五十八年度上半期(四月一日~九月三十日まで)の町予算の執行状況をお知らせします。

昭和五十八年度の町予算は、国の予算の削減合理化等の影響を受け、当初予算が前年度に比べて七・九%のマイナスという、近年には見られない緊縮予算になりました。

予算の執行にあたっては、財源の重点的な配分と、経費の効率化に徹して、豊かで住

〈歳出〉



△ 恋瀬川上流地区土地改良事業 (下林里地内で)



△ 健康キャンペーン (黒部地区で)

国民健康保険

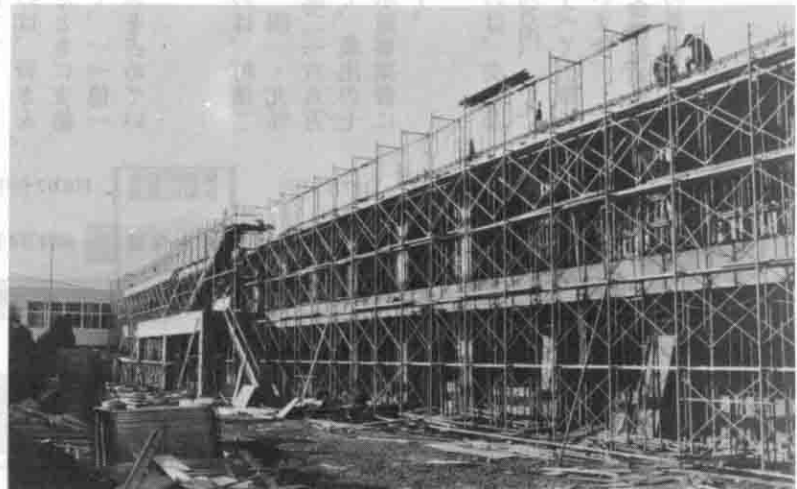
〈歳入〉

単位：千円

	予算額	収入済額
国民健康保険税	467,467	231,905
国庫支出金	692,368	223,706
繰越金	30,000	121,265
その他	6,005	836
計	1,195,840	577,712

〈歳出〉

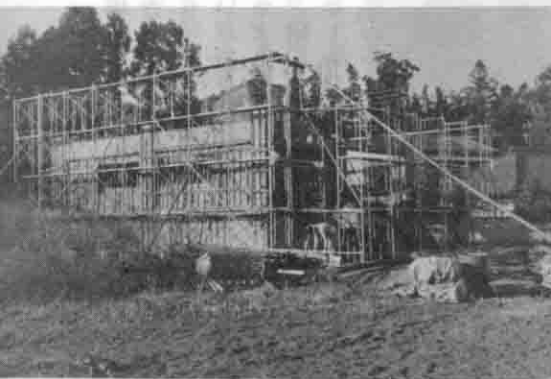
	予算額	支出済額
総務費	63,859	20,668
保険給付費	833,280	291,325
老人保健拠出金	259,645	106,282
その他	39,056	39
計	1,195,840	418,314



△ 建設の進む小幡小校舎。完成は59年7月を予定



△ 町道湯袋線。舗装完了は59年度に

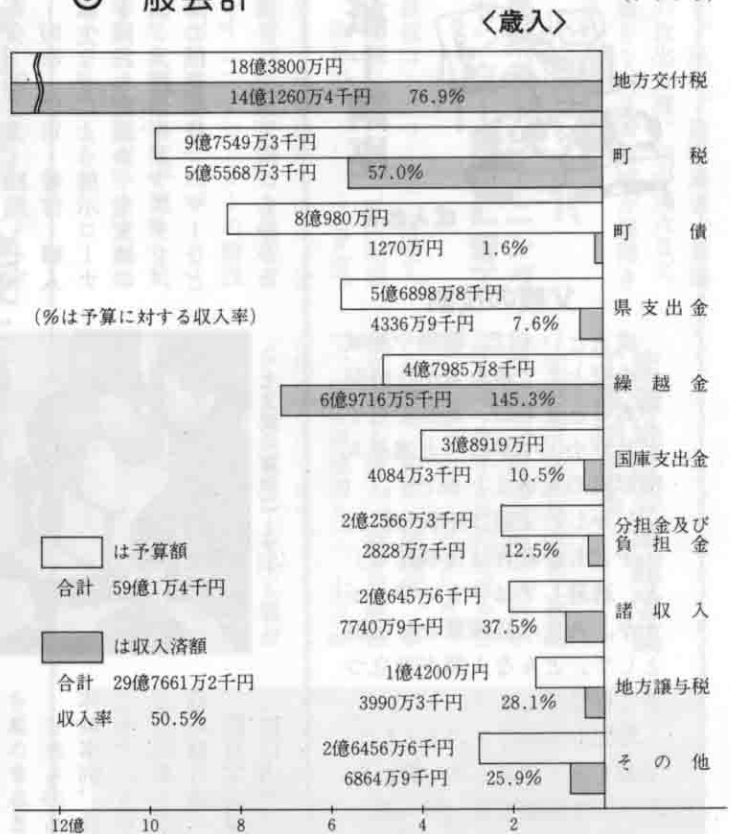


△ 園部地区簡易水道の建設工事(浄水場)

- みよい町づくりのための施策の推進に努めています。
- 〈主な施策〉
- ▼生活環境の整備
 - 簡易水道の普及
 - 道路の整備
 - 防火水槽、消火栓の整備
 - 集会施設の整備
 - ▼農林業の振興
 - 農業構造改善事業、土地改良事業の促進
 - 畜産経営環境整備事業の促進
 - 林道開設
 - 園芸振興事業の促進
 - ▼教育施設の整備
 - 小幡小校舎の建設
 - 小桜小屋内運動場の建設
 - 恋瀬地区公民館の建設
 - ▼住民福祉の充実
 - 社会福祉協議会及び関係団体の育成
 - 保健衛生の推進
 - ▼商工・観光の促進
 - フラワーパーク用地の取得

◎一般会計

(グラフ5)



◎特別会計

菊地四郎顕彰社会福祉基金

〈歳入〉		
	単位：千円	
	予算額	収入済額
財産収入	845	367
繰越金	149	168
諸収入	1	—
計	995	535

〈歳出〉		
	予算額	支出済額
総務費	995	—
計	995	—

老人保健

〈歳入〉		
	単位：千円	
	予算額	収入済額
支払基金交付金	425,772	160,132
国庫支出金	121,052	52,266
県支出金	30,263	13,067
繰入金	32,316	32,312
その他	8,062	11,596
計	617,465	269,373

〈歳出〉		
	予算額	支出済額
医療諸費	607,351	252,185
諸支出金	8,060	—
予備費	2,054	—
計	617,465	252,185

簡易水道

〈歳入〉		
	単位：千円	
	予算額	収入済額
使用料、手数料	48,260	21,332
国庫支出金	96,731	—
繰入金	71,105	71,105
町債	175,400	—
その他	44,183	11,493
計	435,679	103,930

〈歳出〉		
	予算額	支出済額
総務費	77,459	17,192
簡易水道事業費	294,241	72,068
その他	63,979	11,173
計	435,679	100,433

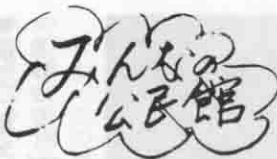
学習成果の発表の場

盛会だった公民館まつり

講座生と参加者が一体に

去る十一月六日、中央公民館を会場に、第一回公民館まつりが盛大に催されました。

これは、中央公民館が開設しているいろいろな学級、講座の受講生の学習成果を発表し、広く一般



公民館まつりの内容は、前期の学習成果の発表の場として、茶道講座生による野だてや茶会、藤工芸・絵画・七宝焼・短歌・俳句・着付・婦人学級生などによる展示コーナーを開設したほか、七宝焼の実演、太極拳・ジャズダンス講師の模範演技、バザーなどです。

当日は、悪天候にもかかわらず

らず入場者も多く、受講生と一般の方々が一体となって盛り上がり、当初の目的である触れ合いと生きがいの発見がなされたようです。

また、昭和五十八年度の花壇コンクールの表彰、子ども



▷七宝焼の実演コーナー

を対象とした映画会なども行われ、施設をフルに活用した意義ある一日となりました。

あいさつの和を広げよう!

オアシス運動作文募集

教育委員会では、より明るく、和やかに声を掛け合い、潤いのある家庭や地域づくりを進めるため、「オアシス運動」を展開しています。

オ オはようございます
ア ありがとうございます
シ しつれいします
ス すみません

これらのあいさつに関する体験事例、意見および提言などを次により募集します。ぜひご応募ください。

◎応募方法

四百字詰原稿用紙(縦書き)三枚以内で、原稿のはじめに

◎応募資格
八郷町に住所を有する者、または勤務している者

◎応募先
八郷町大字柿岡二七七〇、中央公民館内、教育委員会社会教育課。(児童、生徒は各学校へ)

◎応募締切り
昭和五十九年一月三十一日

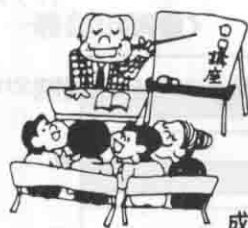
◎入選発表
本紙三月号紙上

休館日のお知らせ

十二月二十九日から来年一月三日まで、中央公民館および地区公民館は休館となります。

紙上講座

成人教育 ③



父親の役割

成人といえば、職場や地域の中堅として最も多忙な時期であるとともに、家庭でも子どもが小・中学校へと進み人格形成の大事なときです。

しかし、父親は仕事大事で、「子どもの教育は母親任せ」と、逃避してはいないでしょうか。人生の経験豊かな父親として、どんな人間が役立つかご存じでしょう。

幼児から小学生の子どもは、父親をみて男らしさや厳しき、生き方を学びます。特に厳しきは、子どもに権威の感覚を呼び覚まし、社会的秩序と節度を学習し、人間としての正しい考え方、事の善悪を理解させます。

さらに、中学生の時代こそ、子どもの教育問題を認識し、積極的に情報を収集しながら、あるときは良き話し相手の友として、あるときは人生の経験を基に正しい方向に導く先輩として、広い視野からの説得力を持ちたいものです。

—指導 近藤修派遣社教主事—

産業文化祭

11月12日から14日までの3日間にわたって、町産業文化祭が、中央公民館を主会場に開かれました。

メインは、13日の日曜日。柿岡商店街が正午から午後4時まで歩行者天国となり、中央公民館とともに多くの催しが行われ、たくさんのお客でにぎわいました。



△カラオケのど自慢大会

▽バザー用のもちつき



▽農林産物品評会及び即売会



祭 まつり 祭 まつり 祭 まつり 祭 まつり 祭

青年のつどい

町青年団主催の「第10回青年のつどい」が、11月27日、中央公民館で開かれました。

つどいでは、青年自らの手で設けた屋外ステージでの「なんでも隠し芸大会」、「柿岡ぎおんばやし」などのほか、大講堂での演劇、各支団のバザー、お茶会をはじめいろいろな催しが行われました。



△屋外ステージでの柿岡ぎおんばやし

▷お茶会





各地区で七五三の合同祝い

七五三の合同祝いが、11月15日、町内各地区で催されました。

地区公民館、地区婦人会などの方たちの主催で開催されたもので、それぞれ、来春小学校へ入学する子どもたちが招待されました。

この日招待を受けたのは、全地区合わせて421人の子どもたちです。お父さん、お母さんといっしょに式典に臨み、千歳あめや記念品を贈られ、祝福を受けました。また、子どもたちは、来年は小学生です。おめでとう。との祝辞に、ちょっぴり緊張した面持ちでした。(写真は小幡地区で)

なお、祝いごとの簡素化運動の一環として、七五三は平服で、という呼びかけもあり、運動服や園児服での参加者がほとんどとなりました。しかし、個人でのお祝いとなると、まだまだのようで、一層の簡素化推進が望まれます。

富有柿四箱を献上

町柿振興協議会(上田一郎会長)では、ことしも、両陛下と両殿下にご賞味いただこうと、町の特産「富有柿」を献上しました。

11月10日、成田禎作(柴間)、猫崎彦吉(宮ヶ崎)、本多良一(真家)、本多敏治(真家)さんの生産者代表4人と、上田会長、中村町長らが献上に皇居と東宮御所を参内しました。

両御所に2箱ずつ献上した「富有柿」は、成田さんら4人の生産者が、念入りに吟味して持ち寄った粒ぞろいの柿で、一箱に24個詰め4箱を謹製したものです。

写真は、柿を選別する生産者の皆さん。



こんな事があつたら保健婦や医師に相談しましょう

タバコを吸う。 手足が冷えやすい。 よくせきが出る。	尿が増えてきた。減ってきた。 腰が痛むことがある。 朝、まぶたがはれぼつたい。	大酒を飲んでいる。 顔につやがなくなる。 湿しんがでしやすい。	下まぶたの結膜が白い。 階段を上るとハアハアする。 顔色が悪い。
尿の量が多く、果物臭がある。 のどが渇き水を多く飲む。 親が糖尿病である。	階段を上るとどうきが激しい。 食後まもなく胸に圧迫感がある。	耳鳴りがする。 原因もなく肩が凝る。 急にめまいがする。	時々、胸やけがする。 ゲップが出る。 息が臭い。

家族の健康総点検



へ血圧を測ろう

血圧の高い人のいる家、成人が何人かいる家では、血圧計を備えたいものです。○血圧は、暑寒、運動、精神作用などによって変動し、

固定したものではありません。○測る前の五分〜十分は、静かにしていることです。○測った血圧値は記録しておいて、高いときや次第に上がってきたら医師に相談しましょう。

へ血圧の測り方

血圧の値は、普通腕で測り、その数はミリメートル(水銀柱)の単位で呼んでいます。血圧は、そのときの状態で絶えず動き、同じ人でも日に二〇〜三〇位動くこともあります。一回測って高いと決めつけしないで、日を変えて測り直してみる必要があります。

中央公民館で慰霊祭

今年から献花方式で

11月9日、中央公民館の大講堂で、約600名の遺族と来賓多数が参列し、町戦没者慰霊祭が執り行われました。

参列者一同で一分間の黙とうをささげた後、町長、遺族代表の慰霊の言葉、来賓の方々の追悼の言葉に続き、町長はじめ各種団体の代表者が、菊の花を献じ、戦没者のめい福を祈りました。

慰霊祭は、これまで1100余柱の英霊を祭る高友山の殉国の碑前で行われてきましたが、今年から献花方式になり、中央公民館で行われたものです。



やまと文芸



短歌

吉田次郎選

散り敷ける柿の葉を打つ雨となり娘との行楽見合わして寒し

金指 小松崎 嘉代

三階の校舎をしのぐ銀杏見ゆ王者のごとく茜に輝れり

柿岡 吉田 喜江子

初めてのボーナスを得しと添え書きで娘は小遣を送りくれたり

川又 岡崎 登

俳句

大岡昇山選

風測る鳥人の瞳の高く澄み

柿岡 野山貞子

遠筑波眺めつ子等と蝗とり

月岡 萩原照子

氏神をかこみ万両たわ、なり

東成井 長谷川 系子

俚謡

大木嶺月選

八十路祝って町から赤い蒲団頂き身の果報

片岡 大野谷 峡水

郷に入って受け次ぐ家風嫁と姑の和かさ

柿岡 大沢 唯夫

願う心は子の素直さが有って楽しい母子家庭

下林 森田 竜月

八郷ライオンズクラブ結成十五周年

今年で結成十五周年を迎え、去る十月三十日、中央公民館で記念大会を行った。八郷ライオンズクラブの会長（潮田文弥・小幡）さんを訪ね、抱負などを伺ってみました。クラブの結成時期は。

会長 一九六八年十月二十日に結成されたんですが、全国で千三百三十八番目、県内では十九番目でした。結成当時の会員数は三十名でしたが、現在は三十五名に増えていきます。

活動の目的は。

会長 あくまで社会奉仕が目的です。つねに社会のためになることを考え、話し合っ活動してきます。

これまでの活動状況は。

会長 老人福祉や身障者対策、

町内美化、ボーイスカウトの育成をしたり、献血、献腎、献眼などを行っています。献血については、今年の七月に厚生大臣から感謝状を受けました。それから全会員が献眼の登録を済ませていきます。また、まむしの血清を結成当時から町に提供しているんですが、現在までに百名近い方々のお役に立っています。この血清は、広域消防八郷分署に常時保管してありますから、もしまむしにかまれたら、すぐ一一九番してください。

最後に一言今後の抱負は。

会長 今後とも地域社会に密着した奉仕活動を継続したいと考えております。特に教育の荒廃が叫ばれているこのごろです。青少年健全育成のための事業を重点項目としてアブローチしたいと考えています。

◎ありがとう

○小幡保育所へ手作りくす玉六十個 小幡 鬼沢松枝
○瓦会保育所へ雑巾三十枚、手作りくす玉三つ、瓦会地区多目的研修センターへ雑巾十二枚
瓦会地区第一老人クラブ



保育所入所児童を募集

昭和五十九年度の保育所入所申請を、次のとおり受け付けます。

▽入所できる基準

保育所へ入所できる幼児は、母親が次のいずれかの事情にあり、ほかの家族も面倒を見ることができない場合です。

- ①昼間、家庭外または家庭内で働いている。
- ②死亡、行方不明、拘禁などでない。
- ③出産の前後、病気、心身障

害など

- ④長期の病人、心身障害者などの看護をしている。
- ⑤火災、風水害、地震などで家を失い、その復旧にあた

っている。

▽受付期間

昭和五十九年一月二十三日

～二十八日

▽申請手続

入所申請書（役場福祉課、各保育所に用意）、印鑑、家族構成のわかるもの（保険証等）のほか、次の書類を添え、入所を希望する保育所へ申請してください。

△入所基準を証明する書類▽

●勤労者、内職者の場合Ⅱ雇用主の発行する雇用証明書（源泉徴収票を交付される方は必要ありません）

●出産、病気、病人の看護などの場合Ⅱ母子手帳、診断書の写し、または民生委員、区長などの証明書

△所得（町民）税額のわかる書類▽

保育料の算定は、前年の所得税額（所得税の課税されない家庭は、前年度の町民税、固定資産税の直系分を合算した額）が基準となります。

源泉徴収票を交付される方はその写しを、確定申告をする方は申告書の写し（後日でもよい）を、それ以外の方は役場福祉課で発行する課税証明を必要とします。

※詳しくは役場福祉課（☎三十一一一一内線七七）へ。

生命保険と税金

多くの家庭では、病気や交通事故など突然の災難に備えて、生命保険に加入していると思います。

納税者本人や家族を受取人とする生命保険などの保険料を支払った場合は、その年中

の支払額に応じて、最高五万円が「生命保険料控除」として、所得金額から控除されます。

また、満期保険金や死亡保険金を受け取ったときは、保険料をだれが負担していたかによって、相続税が贈与税、あるいは所得税がかかります。

なお、傷害特約付生命保険で、傷害や疾病に基づく給付金には、税金はかかりません。詳しくは、土浦税務相談室（土浦税務署内☎〇二九八一二三〇六〇七）へお尋ねください。

海外留学生を募集

茨城、栃木両県の六十八のロータリークラブでは、海外への留学生（一年間）を次のとおり募集しています。

この留学生には、奨学資金として、往復旅費や海外での教育費、生活費など、一人三百万円以上が支給されます。

▽募集人員

七名

▽留学期間

昭和六十年～六十一年にかけての一年間

※留学の種類には、大学院、大学、職業研修、心身障害者の教師、ジャーナリズムがあり、教育程度、職歴、年齢などの条件があります。

▽申込期限

昭和五十九年二月十日

▽選考試験日

昭和五十九年三月二十五日

▽申込先

石岡ロータリークラブ（石岡市国府三三三一一八、常陽銀行石岡支店内）

▽問い合わせ先

石岡市北府中一五五二二（☎〇二九九二一四一一七四）鈴木彰一郎へ

「わが家のアイドル」



市村 聡史ちゃん（柿岡）

父 武雄さん 母 美智子さん
昭和58年4月25日生まれ（三男）
家族からの一言 まだ7カ月を過ぎたばかりなのに10kgもあり「おデブちゃん」の異名もついています。
最近、2人のワンパクお兄ちゃんたちのおもちゃがわりに遊んでもらっています。健康ですこやかに育ってほしいことを願っています。

死亡保険金を受け取った場合

保険料負担者	被保険者(死亡者)	保険金受取人	課税関係
夫	夫	妻	妻に相続税
夫	子	妻	夫に所得税
夫	子	妻	妻に贈与税

満期保険金を受け取った場合

保険料負担者	被保険者	保険金受取人	課税関係
夫	夫	妻	夫に所得税
夫	夫	妻	妻に贈与税

12・1月の納税

- 12月 固定資産税第三期
- 12月 国保税第五期
- 1月 町県民税第四期